



中研レポート No.15 (年2回発行)



発行 自動車安全運転センター 安全運転中央研修所

一般緊急自動車運転技能者課程の紹介

早急な現場活動を行う緊急自動車の運転者として、緊急走行に必要な知識と技能を再確認しましょう。

【対象者】

電気・通信・ガス・水道等のライフライン関係、医療関係、道路管理などの緊急自動車運転者です。

【研修概要】

車両運転の技術の基礎を徹底するとともに、車両の安全の限界を体験します。



【研修内容】

スラローム、ブレーキング、スキッド走行などで基本的な運転技術を再確認するとともに、危険回避研修で、具体的な危険回避方法とその限界を体験します。さらにサイレン・赤色灯を用い実際の緊急走行の場面を想定した研修も行います。

【研修科目】

- ・理論研修～「交通危険学」「車両の特性」「運転適性検査法」



運転適性検査法

- ・実技研修～

【基本走行訓練】

「日常点検」「基本走行」「スキッド走行」「ブレーキング」「スラローム走行」「高速周回路走行」「危険予測と回避」

【応用走行】「障害物回避と危険回避の限界」「夜間研修」

【実務訓練】「緊急走行」「安全補助要領」



スキッド走行



スローム走行



危険予測と回避

ハイドロプレーニング研修の紹介

近年ゲリラ豪雨の被害が多く発生しています。
高速道路走行時に、豪雨に見舞われた場合、その走行スピードには注意が必要です。
高速周回路走行研修時〔2時限〕に行っているハイドロプレーニング研修について紹介します。



【使用するコースの紹介】

多目的エリアは、高速周回路直線部の東側にある幅50m、長さ300mのエリアです。
エリア内の150m区間に、約1～3mmの水膜を張った状態を作り、ハイドロプレーニング現象を体験できる施設です。



多目的エリア



【この研修を行う課程】

「一般緊急自動車運転技能者」「安全運転実技指導員」「新任・現任運転習熟指導員課程（普通車）」「新任教習指導員（普通車）」「届出教習所指導員（普通車）」などです。

【研修内容】

時速100～110km/hの速度で、水の中に進入し、タイヤが空転すると共にハンドル操作が効かなくなり、車のコントロールが出来ない状態を体験します。

【学習ポイント】

- ハイドロプレーニング現象
雨天時に高速で走行すると、タイヤの溝による排水が限界を超え、タイヤが路面から浮き上がって水の上を滑る状態になり、操舵性・制動力・駆動力を失うため、車両をコントロール出来なくなる現象です。
- ハイドロプレーニング現象を起こさないための注意点
降雨状況や路面状態に合わせ、早めに速度を落とすこと。
タイヤの維持管理〔空気圧や摩耗状況のチェック〕も重要です。
- ハイドロプレーニング現象になった場合
ハンドルを操作せずアクセルを戻し、タイヤと路面のグリップが回復するのを待ちます。
慌ててハンドルを操作したり、ブレーキを掛けてしまうと、グリップ力が回復した時にスピンするなど危険な状況になる可能性があります。



ハイドロプレーニング現象下の車両



駆動力を失っており、速度表示は上がるが加速しません

ホームページの紹介



【安全運転中央研修所の研修紹介映像】
 今春から映像内容を一新しています。
 映像は、自動車安全運転センターのホームページのスタート画面にありますので、ぜひご覧ください。



※ 研修内容紹介映像(約6分)



【研修予約空き情報の検索方法】

1 検索方法

- ・自動車安全運転センターのホームページスタート画面
- ・安全運転中央研修所のホームページスタート画面

のどちらのホームページからも「予約空き情報」をクリックして、検索できます。

2 「研修予約空き情報」の画面

予約空き情報には、研修可能な、課程名・期間・人員などが表示されています。

自動車安全運転センターのホームページ



予約空き情報

安全運転中央研修所のホームページ



予約空き情報

研修予約空き情報画面

研修名	研修期間	研修人員	備考
【新設】自動車運転技能向上型研修(全19日)			
大型車	大型自動車コース(3日(土・日))	5名(1名(入)・4名(出)2名)	16
大型車	大型自動車コース(3日(土・日))	5名(1名(入)・4名(出)2名)	2
大型車	大型自動車コース(3日(土・日))	5名(1名(入)・4名(出)2名)	10
【新設】自動車運転技能向上型研修(2日)			
大型車	中型(1)運転技能コース(2日)	5名(1名(入)・4名(出)1名)	7
大型車	大型(1)運転技能コース(2日)	5名(1名(入)・4名(出)1名)	8
【新設】自動車運転技能向上型研修(4日)			
大型車	中型(1)運転技能コース(4日)	5名(1名(入)・4名(出)1名)	16
大型車	大型(1)運転技能コース(4日)	5名(1名(入)・4名(出)1名)	16
大型車	中型(2)運転技能コース(4日)	5名(1名(入)・4名(出)1名)	4
大型車	大型(2)運転技能コース(4日)	5名(1名(入)・4名(出)1名)	10
大型車	大型(3)運転技能コース(4日)	5名(1名(入)・4名(出)1名)	8

お知らせ

【安全運転中央研修所において開催予定の競技大会】

- 第18回SDAセーフティーコンテストは、9月12日(土)
 (SDA:全日本デリバリー業安全運転協議会)
- 第46回全国白バイ安全運転競技大会は、10月10日(土)、11日(日)
- 第47回全国トラックドライバーコンテストは、10月24日(土)、25日(日)
 にそれぞれ、開催されます。

教官コーナー

田中 繁篤 実技教官 (神奈川県警から出向)

出向して、早2年の月日が過ぎました。出向元では、経験のできない全国の皆さんに「安全とは何かを」体験していただくために、実技教官として勤務させていただき、大変貴重な時間を過ごしています。

研修を通じて、人に伝えることの難しさを痛感して日々奮闘しているところですが、残りの出向時間を大切にして、研修生にとってわかりやすく、そしていつまでも心に残る研修を目指していきたいと思っています。



松尾 克嘉 実技教官 (茨城県警から出向)

中央研修所の教官として3年目を迎えました。研修所の充実した施設を生かし、研修生に分かりやすく、楽しみながら、最終的には自己の運転の危険な点に気づいてもらえるような研修を心がけています。

今後も、自らレベルアップに努め、研修生の心に響く研修を目指したいと思います。



清水 誠 実技教官 (警視庁から出向)

出向して3年目となりました。

研修生に研修内容をわかりやすく、そして飽きない研修をしようと心掛けていますが、人に伝える難しさを日々感じております。

研修生が毎日、気軽に乗る車。その車の運転を見つめ直して頂き、危険に対する「意識を変えるスイッチ」を切り替えてもらう事を目標に、今後も、自己を高め、研修に取り組んでいきます。



中沢 賢一 実技教官 (宮城県警から出向)

平成25年度に実技教官として採用され、3年目になりました。

各研修を終えるたび、発見する事がたくさんあるので、毎回新鮮な気持ちで研修に臨むことができます。

研修生も自分の運転の中で、常に新しい発見ができるように、この研修所の研修が、発見するための手助けになればと思います。

そのために、教官としてできることを一つ一つ頑張っていこうと思います。



安全運転をつくろう。

 自動車安全運転センター

安全運転中央研修所

〒312-0005 茨城県ひたちなか市新光町605-16

Tel. 029-265-9560 (研修部) Fax. 029-265-9552